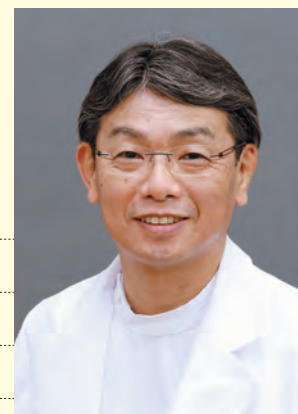




心不全パンデミックの時代における BNP測定の有用性

循環器内科

桶家 一恭



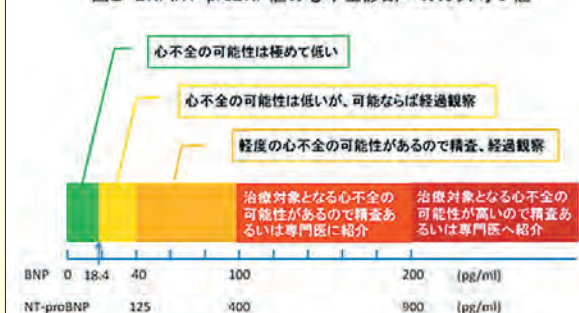
我が国は、超高齢化社会を迎え、心不全パンデミックの時代がやって来るとわれています。実際に弁膜症や心房細動などが増加することも要因ですが、左室収縮能の維持された心不全(HFpEF)も高齢者に多く、高血圧や腎機能低下、貧血などの増悪因子とともに増加しています。心不全とは症候群であり、明確な診断基準はありません。小生は、患者に心不全の症状や身体兆候があり、原因となる心疾患や心機能低下が認められることが重要と考えており、そのためには、胸部X線や心電図、心エコー図検査、血液検査、時にはCT検査なども参考にします。しかし、心エコーやCTはクリニックなどでは容易ではないと思います。

平成19年に保険収載されたBNP (あるいはNT-proBNP) は、血液検査でありながら心不全診断の有力な根拠となり得るものです。BNPは1980年代に松尾・寒川先生らにより発見された利尿ペプチドで、主に心室筋から合成・分泌され、心筋に対する様々なストレスが、それを増加させるとわれています。日本心不全学会では、測定値より図2のごとくの管理を推奨しています。個人的にはBNPが

100pg/ml以下で治療を要する心不全はほぼなく、追加治療や入院を要するものは少なくと

も200pg/mlを超えていることがほとんどです。一方で、500や1000pg/mlでもまったく安定している患者さんもいます。BNPの測定の意義としては、①心不全診断、②治療効果判定、③予後推定とされており、特に①や②に関しては有用と考えられます。症状や身体所見より心不全が疑われたら、胸部X線や心電図とともにBNPを評価していただければと思います。

図2 BNP,NT-proBNP値の心不全診断へのカットオフ値



おかげさまで富山市民病院は 復活しました！

病院長 藤村 隆

今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の院内発生に関しては、去る6月1日に終息宣言を発表後、外来・入院・手術・検査・救急医療などの病院機能は順次回復し、現在はほぼ以前の状態に戻ることができました。これもひとえに地域の先生方のおかげであり深く感謝申し上げます。皆様には大変なご迷惑とご心配をお掛けいたしました。どうぞ安心して患者さんのご紹介のほどをお願いいたします。

8月からは、お休みをいただいていた緩和ケア病棟も再開いたしました。現在の緩和ケア病棟は以前とは別の病棟になっておりますが、医師や看護師などのスタッフは以前のままでするので緩和ケアの診療のレベルはこれまで通りとお考えいただいて結構です。また他の一般病床につきましても概ね元通りの運用となりました。8月11日より、当院の第一駐車場に建設したプレハブにおいて発熱者外来（二診療室）を開始いたしました。熱中症が増加する時期ですが、COVID-19患者、熱中症などのその他の発熱患者と熱の出ていない一般患者の動線を分離することが可能になりました。すべての患者さんが安全で、しかも安心して当院を受診できるシステムができたものと自負しております。

残念なことですが、最近県内外で再度COVID-19患者数が増加してきております。当院では第二波に備えて、今一度感染予防対策を強化いたしました。職員への手洗いの再指導（個別指導や試験）、環境整備（十分なPPEの準備や手指消毒液ボトルの携帯）、体温管理と健康チェック、PPE着脱の再訓練などを徹底して行っています。現在職員は、「万一院内にCOVID-19患者が発生しても自分は絶対に濃厚接触者になっていない」という高い意識を持って働いています。県内のCOVID-19患者数をモニターしながらフェーズに合わせた病床数の確保に努めているところです。

検査体制に関しては通常のPCR検査に加えて、院内でのPCR検査や抗原検査を導入することにより、測定時間の短縮を図っています。緊急でCOVID-19の診断をしなければいけない場合（緊急手術、緊急出産など）には特に有用と思われます。一方、全ての全身麻酔を受ける患者さんや予定出産の方にもPCR検査を行うことにより、ご本人・ご家族はもとより病院職員も安心して診療が受けられるような体制を作っております。

職員一丸となって、急性期医療並びに地域医療を支えていく所存でございますので、今後ともご支援のほどを何卒お願い申し上げます。



予告

地域連携症例検討会

日時：9月8日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

①『肺病変を合併した壊疽性膿皮症の1例』

呼吸器内科 野村 俊一

②『診断に苦慮した中咽頭癌症例』

耳鼻いんこう科・頭頸部外科 辻 亮

2) ミニレクチャー：「当院における手掌多汗症に対する取り組み」

呼吸器外科 山本 優、土岐 善紀、瀬川 正孝

「他人と握手できない」「触れた紙が濡れてしまう」「ハンドタオルを手放せない」。これらは私たちが外来で会う、手掌多汗に悩む患者に共通する訴えである。手掌多汗症の主な治療には内服治療や多汗部への外用剤塗布、イオントフォレーシス、手術などが挙げられる。しかし前三者の治療効果は一時的であり、患者にとって十分な満足を得られていないことが多い。一方手術は胸部交感神経切断術が一般的な術式であり、手掌発汗停止を得られる反面、腰背部や臀部、下肢、足底などへの代償性発汗は不可避である。術前に代償性発汗の程度を予測することは困難であり、永続的に代償性発汗に

悩まされることもある。このような背景をもとに当科では2016年4月より、従来の交感神経を完全切断する術式ではなく、約8割を切断する「交感神経亜切断術」を考案し行なっている。手掌発汗停止を得られるとともに、必発である代償性発汗を生活に支障をきたさない程度にとどめることが可能と考えている。術後には、患者の主観的評価による1年（四季）を通じた手掌及び代償性発汗程度についてアンケート調査を行い、高い満足度を得られている。アンケート調査結果を含め、当科における手掌多汗症に対する取り組みを紹介する。

※定例の研修会、看護研修、衛星研修S－Q U E視聴研修

当面の間、開催を中止いたします。

衛星研修S－Q U E研修の資料をご希望の方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

Eナース

○配信期間 9月7日～10月5日 術後管理と重篤化回避の看護ポイント

○配信期間 9月23日～10月21日 変わりつつある周術期ケア～ERAS術後回復強化プログラム

新特別企画

○配信期間 8月1日～9月30日 病院環境フォーラム 病院機能評価2020



作：病院ボランティア 篠崎 佳子



研修医のひとりごと

臨床研修医
外島 和樹



お世話になっております。初期研修医2年目の外島和樹（としまかずき）です。

私は富山には縁もゆかりもありませんが、北陸に住んでみたいという思いがあり、富山を選び、就職を機に富山へきました。富山を拠点に北陸を巡れたらと思っています。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症により、多くの方がいつもと違う日常を過ごしていると思います。病院でも感染症に対して今まで以上に厳重警戒になり、最前線でコロナ診療に携わる医療者の背中を見ながら、まだまだ未熟で現場で役に立つことができない自分を悔しく感じました。そして、あらためて目に見えない感染症の恐ろしさや、対策の難しさ、予防策の重要性を認識し、今自分にできることは何か？と考えたときに、まずは手指衛生や清潔・不潔を意識した行動を着実にできるようにしようと思いました。

1年間様々な診療科や救急外来で研修して、医師2年目となりました。まだ初期研修医には変わりありませんが、昨年に比べて、具体的な目標や自分に足りない部分、理想とする医

師像がより明確になりました。患者様や指導医の先生方、他のスタッフの方々と一緒に働く中で、自分の知らない世界や考え方に触れたこと、またもっとこうすればよかったという反省や悔しい気持ちが、自分の気づきや次の目標につながっています。個人の価値観や世の中がどんどん多様化する現代で、一通りのアプローチはないと思います。もちろんガイドラインのように、安全かつ有効性を保証する考え方は医学という科学や患者さんの安全・利益の根幹をなすものですが、それを基に目の前の患者一人一人にどうアプローチしていくのか、その応用力が医師として成長していく上で問われてくると思います。そのために今は初期研修という2年間で、医師としての基礎を身に付けておかなければと考えています。

今年は3年目以降の専門科を決めなければならない年です。どの科に行っても揺るがない基礎を作り上げるという気持ちで、残りの研修に精進していきたいと考えています。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

9月

科 名	医師名	不 在 日	科 名	医師名	不 在 日
内 科	家 城	2日、3日、16日、17日	精 神 科	長谷川雄	9日、11日
	大 田 聡	1日、10日	呼吸器・血管外科	瀬 川	10日
	水 野	18日		土 岐	11日、28日
	田 森	8日		武 内	17日、18日
	茶 谷	9日		山 本	17日、29日
	政 岡	17日	皮 膚 科	野 村 佳	7日
	栗 田	8日、29日	泌 尿 器 科	北 野	10日、11日、14日
	野 村 俊	28日		高 田	25日、28日、30日
	川 根	10日、11日	産 婦 人 科	長谷川徹	30日
	松 田	9日	大 田 悟	大 田 悟	14日
外 科・乳腺外科	佐々木	2日、4日		和 田	7日、8日
脳 神 経 外 科	渡 邊	28日、30日	小 児 科	牛 尾	30日
	毛 利	15日、16日、18日	眼 科	山 田	23日、28日
整 形 外 科・ 関 節 再 建 外 科	白 浜	30日		狩 野	4日、14日
	岩 井	1日 3日	耳 鼻 いんこう科・ 頭 頸 部 外 科	辻	23日、30日
	五 嶋	3日、23日、24日、29日、30日	歯 科 口 腔 外 科	阿 河	4日、7日、24日
麻 酔 科	石 田	24日、28日		寺 島	23日
	清 水	10日		朝 倉	14日、30日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。 TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

今年は「新しい生活様式」でのお盆休みとなりましたが、いかがお過ごしでしたか。私の地域ではお盆休みに合わせてBBQや、地蔵祭りが開催されます。今年はどちらも自粛となり、お地蔵様に供える野菜を貰いに回る子供たちの賑やかな声も、BBQで張り切る旦那衆の声もない静かな夏となりました。訪問客も少なく、お土産にと育てている畑のスイカが残ってしまいました。お墓の花が差し替わっていることで、我家に寄らず帰られた親戚の皆様の気使いを感じています。当院では、発熱外来を開設し新型コロナウイルスを疑う有症状者をスクリーニングし診察しています。コロナウイルスとの闘いは少し長くなりそうですが、来年こそは大人や子供の声が響く夏を迎えるぞ！との想いで乗り越えたいと強く思っています。

ふれあい地域医療センター 砂原 貴代美

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

